

ゆりはま 議会だより

Vol. 70

令和3年8月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会

新議員決まる
ワーケーション事業推進
JR泊駅舎新築
ワクチン接種はじまる

2

4

6

7

「待ちに待ったプールびらき」
(まつぎきこども園)

6月
定例会

議会をめざして

令和3年4月25日に町議会議員選挙が8年ぶりに行われ、12名の議員が決定しました。
5月10日に臨時会を開き、議長、副議長を選挙で選出したほか、常任委員や監査委員などを決定しました。
住民の皆様の負託にこたえる議会活動ができるよう、議員一同決意を新たにしています。
新たな議会構成は、9ページに掲載しています。



議長
はまなか たけとし
濱中 武仁
泊 61歳 ⑥

存在感のある議会へ

議長を拝命し、その職責の重さに身が引き締まる思いです。
さて、このたびの議会議員選挙において、投票率の低さが気になりました。町民の皆様の、議会への関心の低さの表れかと思えます。
議会の情報発信、町民の

皆様へより分かりやすく理解していただけるための取り組みを進めていく必要があります。
これまで以上に、町民の皆様の声を聞き、町政発展と町民生活の安定のため、議会がその役割を果たし、存在感が発揮できるよう、誠心誠意議会運営に努めてまいります。

「コロナ禍！あわてず・あせらず・平常心」で、皆様の考えを聞きながら、町行政施策に反映できるよう最大限の努力で実践していきます。



みつい てつはる
光井 哲治
はわい長瀬 68歳 ⑥

町内を歩けば歩くほど、さまざまな課題が見えてきます。これらを解決し「湯梨浜町に住んでよかった」と言っていただけのようなまち創りをめざします。



まつおか あきひろ
松岡 昭博
門田 70歳 ③



かわた よういち
河田 洋一
別所 60歳 ⑤

子どもから高齢者まで、住みやすい湯梨浜町をめざし、皆さんの声を行政へ届けます。そして、これからも心の痛みのわかる議員であり続けたいと思います。

住民皆さんの生活への不安や心配に応え、安心安全な環境を整えていくこと。また、経済活動の維持拡大をベースに町政課題に取り組みます。



てらじ のりゆき
寺地 章行
野花 72歳 ⑥



いそえ きみひろ
磯江 公博
田後 69歳 ①

少ない得票数でも、会社勤めをしながらでも、意欲ある高齢者・子育て世代が活動できる議会制度の改革。「議員定数倍増・報酬半額、平日の夜・土日開催」に取り組みます。

信頼 される

町民に信頼される議会を



副議長
よねだ つよみ
米田 強美
旭 66歳 ③

昨年、春からの新型コロナウイルスにより、大変な状況が始まりました。「ウイルスとの共生」という覚悟なくして、前に進めないように感じます。

どの分野においても、「共生」が今まで以上に大切になると思います。そのためにも、信頼関係の構築が重要。真剣に信頼される議員を模索。頑張つてまいりますので、よろしくお願いいたします。



おがわ ゆう
小川 遊
田後 38歳 ①

大好きな湯梨浜の今、そして未来のために、子育て世代の自分にできることを！
誰もがのびのびと生活・成長できる町づくりに取り組みます。



いりえ まこと
入江 誠
田後 60歳 ⑥

コロナ禍からの脱却！をキーワードに、常に住民に寄り添いながら、スピード感を持って、必要な支援が町民の皆様が届くように負託にこたえてまいります。



のぶはら かずひろ
信原 和裕
はわい長瀬 70歳 ①

私は、長年の障がい者・高齢者福祉現場の職員・役員、さらには僧侶としての経験を生かし、町民の命と暮らしを守り、発展させることに全力を注ぎます。



ますい くみ
増井 久美
田後 70歳 ⑤

今議会から、女性は一人数になり残念に思います。女性活躍が叫ばれる時代です。あとに続く方々のためにも頑張ります。



なかもり けいじろう
中森 圭二郎
松崎 36歳 ①

町民の方に湯梨浜町や議会に関心を持ってもらえるよう、情報開示の推進や発信に工夫を凝らしたいと思います。



ワーケーション事業推進で 新たな観光産業をめざす

令和3年6月定例会は、6月10日から18日まで開催されました。

今定例会に提案された令和3年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された13議案すべて、原案のとおり可決及び同意しました。

また、議員発議による国に提出する意見書2件を原案どおり可決しました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ4909万円を追加し、補正後の予算の総額を101億2963万円とする。

コロナ禍の観光産業創出

・ワーケーション推進事業

115万円

新型コロナウイルスで観光事業が甚大な被害を受けている。旅先でのテレワーク（情報通信を活

用し遠隔地で仕事）をするワーケーション（仕事も休暇も楽しむ働き方）により、自然や景観に囲まれた農作物や温泉に恵まれた滞在先として、積極的な観光産業を創出する。

補正額は、テレビ番組・新聞広告料など。



養生館で旅館ワーケーションを体験する様子

JR泊駅舎新築改修へ

・駅舎新築改修工事業

3945万円

トイレの水洗化に向けた改修を目的として調査した結果、劣化が激しく老朽化が進行していることから、一部改修ではなく建て替えを行うため増額。

算定方法見直し実施

・文化財保護臨時経費

142万円

トウテイランふるさと公園用地の購入単価を、固定資産税の評価額を基準に算定していたが、近隣の売買事例に基づいて算定するよう見直しを行ったことによる増額。



整備が予定されているトウテイランふるさと公園（橋津）

外出のきつかけ を作る番組制作

・元氣いっぱい高齢者
応援事業

130万円

外出を控える高齢者が楽しめる視聴者参加型の自主番組を制作。
新型コロナウイルス感染症予防の外出自粛の影響か、町内の介護認定者は増加傾向にある。

町内の名所や散歩コースを紹介し、外出の重要性を喚起する。

また、番組商品としてゆりはま商品券を配布し、町内事業者支援も行う。

安心して成人式 に出席

・新型コロナウイルス
感染症対策事業

207万円

成人式対象者が安心して成人式に出席できるように、出席者全員にPCR検査を実施する。検査委託費、通信費を補正する。

エネルギーの地 産地消を検討

・新エネルギー活用推
進事業

49万円

湯梨浜町、北栄町、琴浦町の3町で、地域外から購入しているエネルギーを町内で生産、消費できるよう新電力会社設立の検討を続けてきた。
令和3年度は、3町と民間企業による新電力会社設立の最終判断に向けて検討する。
北栄町が3町を代表してコンサルティング会社へ委託を行うので、その負担金を支払う。

3集落に支援

・コミュニティ助成事業

430万円

自治総合センターが実施する事業を活用し、各集落・団体のコミュニティ活動に必要な施設、設備の整備を行う。

・光吉区：除雪機ほか
・長瀬中部区会：パソコンほか
・長江区自治会：エアコンほか

「湯梨浜町防災 マップ」の改訂

・防災力強化事業

149万円

国の災害対策基本法が改正され、災害時に町が発令する「避難情報」が名称変更となった。

そこで、避難所、地図、浸水想定区域の修正もあわせて「湯梨浜町防災マップ」を改訂する。8000部印刷して、全戸配布を予定。

低所得世帯の子 育て支援

・低所得の子育て世帯
生活支援特別給付金

1613万円

新型コロナウイルス感染症の長期化で、経済的に苦しむ一人親世帯などを支

援する。
295名の児童に5万円ずつ支給する。

下水道事業 特別会計

歳入歳出それぞれ180万円を減額し、補正後の予算の総額を16億9478万円とする。

ポンプ事業の予 算組み替え

・雨水(ポンプ場)事業
計画中の松崎地区内

水面事業、龍島雨水ポンプ場建設工事のうち、建設資材の購入予算の組み替え。

全体予算を工事費(4億5551万円)と備品購入費(3億4000万円)に分割発注し、広く入札参加資格を有する希望者の参加機会を可能にする。
また、透明性、競争性、公平・公正な執行を確保する。



グラウンドゴルフを楽しむ高齢者たち



急がれる冠水対策

JR泊駅舎改修から 新築整備へ

☆JR泊駅舎は、トイレ整備を含めた改修工事から、町社会福祉協議会からの多目的トイレ整備要望や、ワールドマスターズゲームズ開催を控え、検討した結果、新築改修することになった。また、全員協議会などでの意見をふまえ、女子トイレの増設などが追加提案された。

問 新築とのことだが、特長のあるものにするべきでは。

問 管理は町が行うのか。

答 維持管理を考えれば、奇抜なものではなく低コストのものにしたい。

答 JRから無償譲渡していただいており、町で管理していく。



整備が急がれる現泊駅舎

問 木材が高騰しているが、増額の心配はないか。

答 許容できる余裕を持った積算をしているので大丈夫と考える。

曖昧な提案ではなかったか

☆トウティランふるさと公園整備の用地購入単価の算定方法の見直しが行われた。

問 整備後の管理をどう考えているか。

答 町が委託料として整備する部分と、ボランティアなど両方を考えている。

問 単価差があまりにも大きい。曖昧な提案ではなかったか。

答 今後は算定方法を精査し、提案していく。

問 トウティランの盗難の心配はないのか。

答 心配している。お知恵をいただきたい。

4月の降霜、ひょう害の緊急支援

☆県が4月の霜、ひょう被害に対して緊急支援事業を行う。町も上乘せ補助として支援していく。

問 収穫量が確定されないのと、支援が行えないのか。

答 JA、生産者組織を中心に状況を確認し、収穫期までに確定したい。

問 漏れないように気配りを。

答 JA以外の生産団体、個人の農家には町報で周知し、町で調査する。

問 品質的にも落ちてしまうが、収入面でも考慮されるか。

答 収入面での補償はない。

中部地域新電力事業を検討

☆湯梨浜町・北栄町・琴浦町と民間企業が連携した新電力会社設立に向けた調査を、昨年行った。

今年度は県補助金を利用し、詳細に検討する。

問 再生可能エネルギーの取組みは重要。

前向きかつ慎重な検討を。

討を。

答 9月までには町の方針を決める必要がある。逐一報告していく。

問 民間事業に町が関わる意義は。事業をやらない場合、補助金の返還が必要か。

答 事業の有益性と、参画は別の話。十分に調査し見極めたい。補助金の返還はない。

ワクチンの優先接種は 職種などを考慮する

☆高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種の説明を受けた。

問 自治体によって
は、保育士など職
業により優先接種をして
いる。わが町の対応は。

答 65歳以上の方を
優先的に接種して
いる。
今後、職種などを考慮
しながら優先接種を考え
たい。

問 高齢者の中に
は、接種会場に行
けないとか、予約や連絡
などができない人もある
のでは。

答 訪問診療でのワ
クチン接種も進め
ている。
関係課と協力し、最終
的な掘り起こしをして進
めていきたい。

地域密着型特別 養護老人ホームを 整備へ

☆施設の整備に向け、
事業者の公募を行う。

問 建設までのスケ
ジュールは。

答 公募の期間は、
8月上旬から2か
月程度。
選定期間は、10月中旬
を予定している。

問 施設への入所を
希望している待機
者は、町内にどの程度お
られるのか。

答 令和2年度の待
機者数は、50人と
なっている。

問 事業者の選定方
法と選定基準は。

答 現在、審査要項
を策定している。
選定委員会で審査を行

い、その評価に基づいて
町長が決定する。

延期になった成人式 の開催は

☆対象者が安心して成
人式に出席できるよ
う、出席者全員にPCR
検査を行う。

問 PCR検査キッ
トの数は十分か。

答 今年1月3日に
予定していた成人
式が延期になった。検査
キットはそのときの出席
者数で計上している。

問 検査キットの配
布と結果確認はど
うするのか。

答 出席希望者全員
に配布する。検査
結果は役場に返送され
る。
参加者了解のもとで進
めていく。



令和2年成人式（ハワイアロハホール）

問 現状では、9月
開催も難しいので
は。その判断はいつ行う
のか。

答 8月上旬に判断
したい。12月に再
延期することも含めて既
に通知している。

成人式は20歳を対象

問 令和4年4月
から成人年齢が18
歳に引き下げられるが、
成人式はどうなるのか。

答 成人式は、20歳
を対象とする。式
典の名称は、20歳の節目
にふさわしいものを検討
する。

陳 情 審 査 結 果

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳情者名	採決結果
保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 石井 由加利	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情	鳥取県高等学校教職員組合 中部支部 支部長 谷口 善一郎 鳥取県教職員組合中部支部 支部長 川上 慎治	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 金田 涼	継続審査
旧北浜中学校跡地利用に関する陳情書	羽合地域グラウンド・ゴルフ協会 会長 永野 忠行	継続審査

保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活動促進ではなく、保育所職員の配置基準、処遇向上のための必要な措置を求める意見書（要約）

国は、待機児童がいる自治体限定であるが、「各クラスで常勤保育士1名必須配置」としているところを、パート保育士だけで担当できるようにしようとしている。パート保育士が増えれば、常勤・正規職員の負担がさらに増すなどの問題が生じ、クラス担任がパート対応となれば保育の質低下は免れない。

コロナ禍の中で保育所の重要性はいつそう明らかになり、国が責任を持って改善することが求められている。よって、常勤職員の確保・増員及び処遇改善を講じるよう要請する。

少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書（要約）

子どもたちへのきめ細かな教育とゆたかな学びを保障し、教職員の定数改善による働き方改革の実現のため、次の措置を講じるよう要請する。

- 一、中学校・高等学校での35人学級の早期実施と、さらなる少人数学級についての検討。
- 二、学校の働き方改革・長時間労働是正実現のための教職員定数改善。
- 三、自治体の「学級編成基準の弾力的運用」のための加配の継続。

委員会構成

総務産業常任委員会（6人）

委員長 入江 誠
副委員長 小川 遊
委員 米田 強美
寺地 章行
磯江 公博
増井 久美



＜担当の仕事＞

総務課・企画課・出納室・町民課（税務関係）・産業振興課・建設水道課・みらい創造室・国民宿舎に関すること

教育民生常任委員会（6人）

委員長 松岡 昭博
副委員長 信原 和裕
委員 光井 哲治
河田 洋一
中森圭二郎
濱中 武仁



＜担当の仕事＞

町民課（税務関係を除く）・子育て支援課・健康推進課・長寿福祉課（地域包括支援センター）・総合福祉課・教育委員会に関すること

議会広報常任委員会（11人）

委員長	増井 久美		
副委員長	中森圭二郎		
委員	松岡 昭博	磯江 公博	
	米田 強美	小川 遊	
	光井 哲治	入江 誠	
	寺地 章行	信原 和裕	
	河田 洋一		



＜担当の仕事＞

議会だよりの編集、広報の実施に関すること

議会運営委員会（5人）

委員長 河田 洋一
副委員長 寺地 章行
委員 入江 誠
松岡 昭博
増井 久美



＜担当の仕事＞

議会運営全般について協議し、意見調整をはかる

オブザーバーとして
濱中武仁議長、米田強美副議長

- ◆議会選出監査委員
- ◆鳥取中部ふるさと広域連合議会 議員 光井 哲治 濱中 武仁 議員 米田 強美
- ◆鳥取県後期高齢者医療広域連合議会 議員 濱中 武仁

町政を問う!

6月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
河田 洋一	3歳以上の園児にも温かいご飯を	10
松岡 昭博	収入保険保険料助成制度の創設を	11
	高齢者の見守りに町も積極的対応を	
中森圭二郎	教職員による消毒業務の軽減を	12
	生徒・保護者が関わる校則見直しを	
米田 強美	自然保育事業に支援を	13
	アフターコロナの観光を考える	
信原 和裕	戦中・戦後の経験を今の時代に	14
	気候変動にあわせ、改めて防災対策を	
増井 久美	加齢性難聴者へ補聴器購入助成を	15
	新型コロナウイルス対策への支援強化を	

3歳以上の園児にも 温かいご飯を

町長

要望が強ければ一考を要する



かわた よういち
河田 洋一



おいしい給食楽しいな
(たじりこども園)

【問】①3歳未満の園児には、自園給食でおかずと一緒にご飯を出しているのに、3歳以上になるとご飯を持参するのはなぜか。
自園調理ができるようになったのだから、3歳以上の園児にも温かいご飯を自園給食で食べさせることができないのかを問う。

【町長】①令和元年10月1日から実施された保育の無償化により、保育料は無料化されたが、主食・副食費は対象外であり、保護者負担をお願いしている。
②温かいご飯を提供するためには、①主食費負担の追加②炊飯器、食器などの購入と設置場所の確保③クラス配膳に時間がかかり保育士の負担増④調理員の増員などの課題がある。
今のところ温かいご飯の提供は考えていないが、保護者の方からの要望が強ければ一考しなければならない。

収入保険保険料 助成制度の創設を

町長

追加助成は考えていない



まつおか 松岡
あきひろ 昭博

【問】日本一の生産量を誇る本町の二十世紀梨は、衰退か再生に向かうのか岐路に立っている。

再生に必要なことは、経営の安定化と労働力不足の解消と思う。

①経営安定には収入保険加入が必要であり、保険料の助成制度を創設してほしい。

②JAなどと連携し、労働力確保の仕組みを整備してほしい。

③二十世紀梨のPRと、生産者に自覚と自信を持っていただくため、大きな看板を要所に設置してほしい。

【町長】①令和2年度から、収入保険制度加入促進事業費補助金を支援している。また、梨・ぶどう・柿の農業共済掛金を助成している。

さらに、町独自の上乗せ追加負担は、現在のところ考えていない。

②「特定地域づくり事業協同組合制度」を検討したが、実施には至らなかった。

③令和2年度の鳥取県に関するイメージ調査で、二十世紀梨の特産品認知度は、10年連続一位。看板以外の媒体も活用し、PRに努めたい。



梨の袋掛け作業（野方）

高齢者の見守りに 町も積極的対応を

町長

町・関係機関・地域で支援

【問】高齢者福祉計画などには、高齢者を地域で見守る体制づくりの充実など、多様な見守り施策の充実が重要な課題となっている。

①高齢者が困っているとときには、迅速に支援が届くよう、ボランティアだけでなく町も積極的に対応すべきではないか。

②近年、どれだけの集落で避難訓練が行われたのか。

訓練を実施していない集落には、訓練実施を働きかけるべきではないか。



地域包括支援センター
（湯梨浜町役場）

【町長】①町の令和3年4月の高齢者人口は5384人で、高齢者の世帯も年々増加している。地域包括支援センターへの相談は減少傾向だが、町としても引き続き、相談、支援体制を充実強化していく。

②令和2年度、60集落で、延べ130回の避難訓練、消火訓練、防災訓練を実施。実施していない集落には、防災特別対策官からの呼びかけや、文書を出していきたい。

教職員による消毒業務の軽減を

教育長

要望があれば随時検討



なかもり けいじろう
中森 圭二郎

【問】教職員の過密労働、長時間労働が問題になっている。教職員の業務の中に、新型コロナウイルス感染症予防対策としての消毒、清掃が加わっている。通常の授業のほかに、理科や家庭科の授業、運動会といった行事など、感染予防対策が必要な場面は多岐にわたる。

①こうした業務が教員の過度な負担になっていないか、教育長の見解を問う。

②消毒業務の範囲の見直しや外部人材の活用、業務委託を検討してはどうか。



感染予防対策として消毒作業を実施
(東郷小学校)

【教育長】①教職員の負担軽減については、羽合小学校、湯梨浜中学校に教員業務アシスタントを配置している。羽合小学校では、消毒作業をシルバー人材センターに委託している。

毎月行っている校長会での聞き取りによれば、消毒業務が過度の負担になっているとは聞いていない。

②外部人材の活用については、羽合小学校以外の学校から要望があれば随時検討したい。

生徒・保護者が関わる 校則見直しを

教育長

生徒の声を生かす仕組みを検討

【問】社会状況の変化に合わせて学校の校則を見直す動きが全国的に高まっている。主権者教育の観点からも、児童生徒、保護者も校則見直しに参加できる形を作るべきだと思う。

そこで、①現在の湯梨浜町における校則・生徒指導の公表状況や見直しの頻度、体制について現状を問う。

②教育委員会が学校に対して、校則・生徒指導のあり方の見直しを求める通知を出す自治体もあるが、湯梨浜町教育委員会は学校に通知を出すつもりか。

【教育長】①小学校では、「小学校のくらし」などを生活のきまりとして児童や保護者に配布している。

また、保護者の意見を吸い上げる機会も設けており、随時見直されている。

中学校では、年度初めに校則の見直し内容を生徒に伝えたり、生徒の声を聞き直しながら生かす仕組みを検討している。

②文部科学省から校則の見直しを求める通知が发出された。

通知が届き次第、内容を確認し、対応したい。



あいさつ運動の様子
(東郷小学校)

自然保育事業に支援を

町長

町単体ではなく圏域で考えたい



よねだ つよみ
米田 強美

【問】1年を通して野外での活動を中心に行う保育は、多様化する保育ニーズに対応したもの。

鳥取県は自然保育を行う園を認証し、それに基

づき運営費の補助を行っている。認証された園は、東部5園、西部1園、中部1園。

中部には倉吉市に「自然がっこう 旅をする木」があり、基本単価の2分の1を県が補助し、倉吉市は倉吉市在住者を対象に3分の1を補助している。湯梨浜町からも1名が利用しており、利用者に応じて運営費の補助をしてはどうか。



豊かな自然でのびのび過ごす
(自然がっこう 旅をする木)

【町長】県は、平成27年

「とっとり森・里山等自然保育認証制度」を創設し、運営費（利用者負担を除いた経費）の助成を開始。補助割合は県2分の1、市町村の補助は任意。

倉吉市は、市内で事業を実施する事業者を補助対象とされており、倉吉市と同じ要領でやれば、本町には事業所がないので対象にできない。今後、圏域相互の市町で同様な扱いとなることを前提に考えてみたい。

アフターコロナの

観光を考える

町長

新たな周遊ルートの構築、

観光需要を創出

【問】新型コロナウイルスが全国で拡大し、宿泊業などは厳しい状況が続いている。今は収束に備えて、準備をするときと捉えるべきだ。

①中部圏域での連携を強化し、周遊ルートの構築を進めてはどうか。

また、本町らしい特徴ある商品開発が必要。そのためにも、町営である水明荘が率先して取り組み、旅館組合、観光協会と連携してはどうか。

②ゴールデンウィークも客足が伸びず、厳しい状況が続く。経済的支援をどう考えるか。

【町長】①コロナ禍での水明荘の果たす役割としては、中部圏域での連携、魅力を高める。東・西部圏域も視野に入れた新たな周遊ルートの構築も取り入れて、その強化をはかり、一定の成果が出せればと考えている。

関係機関と連携して、広がりのある形で進めていきたい。

②コロナ禍での経済支援では、引き続き国や県と連携して支援していく。

また、「ワーケーション」による新たな観光需要を創設し、コロナ禍及びコロナ収束後の観光客の増加、地域経済活性化をはかっていきたい。

※このほか、「困窮女性への支援」も質問しました。



観光の起爆剤として
ワーケーションに期待

戦中・戦後の経験を今の時代に

町長

戦争記憶を風化させないよう努める



のぶはら 信原 かずひろ 和裕



敵軍監視迎撃陣地のあった
潮風の丘とまり

【問】今、世界中で新型コロナウイルス感染症が大流行し、本町でも子どもから高齢者まで、物心両面で苦しく、困難な生活を強いられている。
だが、かつて私たちの先人は、十五年戦争でそれ以上の苦しみを経験しながら、それを乗り越え、今日の日本、湯梨浜町を築いてきた。
その経験をふまえ、町として戦時中の町民の生活、頑張りがどうだったかを町報や小学校の平和学習で取り組んではどうか。
また、終戦の日などの平和の鐘の提案を寺などにしてはどうか。

【町長】終戦から76年の月日が流れ、戦争体験を聞き、学ぶ機会が減ってきている。戦争の記憶を風化させないよう、さまざまな機会を通じて学べるように心がけたい。
平和の鐘については、まずは町民と宗教団体との協議から取り組むのが本筋だ。
【教育長】各小学校では広島への修学旅行、総合的な学習の時間で平和学習の機会を設けている。
今後は、学校に戦争体験者をお招きしてお話をきくなど、各学校と相談しながら、平和学習に取り組んでいく。

気候変動にあわせ、改めて防災対策を

町長

防災マップを改訂し、

想定区域を見直す

【問】湯梨浜町、特に天神川や東郷池周辺は歴史的に水害が多く、官民ともども、さまざまな対策、努力をしてきた。
だが近年、異常気象で想定外の大雨が降るようになり、改めて「天神川も危ない」と言われた。
一方、東郷池周辺には幼児、高齢者などの災害弱者の施設、学校などが増え続けている。
こうした人たちの福祉避難所の整備や確保、町内各地域・集落の避難所の整備、避難訓練、防災マップの更新など、改めて早急にすべきである。

【町長】全国的に、局地的に水害が多くなり、災害が発生し、本町でも、いつでも起こりうる可能性がある。
現在、県工事で東郷池護岸改修、周辺道路のかさ上げ工事が終了し、本町ではこの工事に連携し、高額だが排水ポンプ設置工事を進めている。

※このほか、「小・中学校の副読本の充実」も質問しました。
また、町の防災マップを改訂し、洪水浸水想定区域を過去の事例から想定される最大規模に見直す。これを基に避難意識を高め、訓練や防災講習会で活用していただきたい。



水害時には、災害弱者に不適当な
アロハホール

加齢性難聴者へ 補聴器購入助成を

町長

内容を検討し、提案を考えている



ますみ 久美
増井

【問】令和元年12月定例会で竹中議員が、「加齢性難聴者への補聴器購入助成を」という質問をされている。

そのときの町長答弁は、「難聴も認知症の危険因子のひとつである」と認識しているが、補聴器と認知症の関係は、まだ研究段階にあると思っている」というものであった。

また、公的な助成制度新設の要請あるいは国の研究結果を注視して実施の検討もしてみたいというものであった。町として補聴器購入助成制度をつくるべきではないか。



小型化する補聴器

【町長】国の研究結果によると、認知症の危険因子のうち難聴は最も重要。また、介護が必要となつた要因の第一位は認知症である。認知症の予防は、高齢者介護を社会全体で支え、家族による介護負担を軽減することにつながる。

重度の難聴の方へは、補聴器は補装具としての位置づけで支援がある。町としては、その対象外である軽度・中等度難聴の方の補聴器購入支援の内容を検討し、次回の臨時会あたりでの提案を考えている。

【問】本町は県と協力して、このコロナ禍から住民の生命と暮らしを守る努力をされていることは評価するが、さらなる対策を行ってほしい。

①不安なときにはいつでも誰もが無料でPCR検査を受けられる体制を作ってほしい。

②ワクチン接種体制の現状と今後の体制。

③小・中学校や役場など、公的施設のトイレへ生理用品の無償配備をすること。

④事業所へのさらなる補償を強めること。

新型コロナウイルス対策への 支援強化を

町長

さまざまな取組で対応していく

【町長】①現在のところ、鳥取方式で感染を抑え込むことに成果を上げており、PCR検査に頼らなくてもいいと考えている。

②ワクチン接種は順調に進んでいる。より多くの人により早くをモットーに進めていく。

③経済的に苦しんでおられる方を下支えする体制を作ることが大切だと考えている。

④今後は事業継続はもちろん、新分野進出や事業転換などの前向きな投資に対する支援なども考えている。



女子トイレに生理用品配備を

町民インタビュー

「湯梨浜町ゆかりの偉人～

やまのうち とくしよ
山内 篤処について」

まつおか やすまさ
松岡 恭正 さん（はわい長瀬）



今昔物語風にいうと「今は昔、湯梨浜に偉人ありけり…」みたいな話ですが、現在の湯梨浜町役場の敷地が長瀬小学校だった時代、校庭の片隅に鉄棒と砂場があり、その裏にこんもりと緑に囲まれて石碑が建っていたことを覚えておられるでしょうか。あの石碑は「山内篤処」という方の顕彰碑で、学校の統廃合でその都度移転して、羽合西小学校時代は学校入り口正面に置かれ、今は羽合小学校のプール横に置かれています。

山内篤処は、幕末に鳥取藩の儒学者として藩政立案に尽力した人です。明治の初めに学校制度ができてから教師養成の指導者となり、長瀬に明治13年から明治18年に没するまで定住して「楽只（らくし）塾」という私塾を開き、長瀬地区のみならず浅津、松崎、長和田など近隣からも多くの人々が教えを受け尊敬を集めていました。

石碑は山内篤処の功績を称えたもの

で、明治44年に県知事の下承を得て建立されました。現在は地面に放置されている状態で、湯梨浜町にとどまらず、鳥取県の文化教育行政の礎を築いた偉人がないがしろにされているようで心が痛む思いです。

いずれの時か、再度きちんと建立された姿を見たいと願っています。



父の原稿を編さんし、「山内篤処伝」を2015年に発刊

議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。

議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

編集後記

8年ぶりの選挙を経て、新人議員も加わり議会がスタートしました。今回の議会だよりには、それぞれの顔写真とともに、一言を載せています。議会がもっと皆様の身近なものとして存在し、若い方や女性にどんどん参画していただけるよう、広報委員会として努力していきたいと思えます。

町民の皆様のご意見、ご要望など、ぜひお聞かせください。

また、傍聴にも来ていただければ嬉しく思います。

（記 増井）

【編集】

議会広報常任委員会